

85th Business Report

第85期 報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

Passion for the Next Innovation

～ 次なる革新への熱い思い ～





ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された方々には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

また、「令和2年7月豪雨」により、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

私は土屋忠博前社長の後任として、本年4月1日付をもちまして代表取締役社長に就任いたしました。微力ではございますが、社業の発展に専心努力いたす所存でございますので何とぞよろしくご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、ここに第85期報告書としてご報告申し上げます。

今後も株主の皆様のご期待に沿うべく努力をいたす所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 村林秀晃

高度な技術力と高い志を持って、誇りあるDMWブランドの製品を世界に提供します。

2019年度における受注はどのような状況でしたか。

当連結会計年度の世界経済は、米中貿易摩擦長期化の影響による中国の景気後退や中国や欧州での輸出の鈍化による製造業の低迷、英国のEU離脱問題や中東情勢不安定化の影響などにより、景気の減速傾向が顕著になる中、第4四半期には、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、各国の経済活動が大幅に制限され、期末にかけて急速に悪化しました。わが国経済は、年度前半は緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済減速の影響による輸出や生産の弱さが継続し、年度後半は製造業を中心に景気の停滞感が強まる中、新型コロナウイルス感染症拡大への懸念により景気が大幅に下押しされ、厳しい状況になりました。

このような中で、新型コロナウイルス感染症の拡大による当社グループの当期連結業績への影響は比較的軽微に留まり、当連結会計年度における受注額は、大型案件の受注があった官需部門をはじめ、国内民需部門、海外部門の全てで好調であったことから、前連結会計年度比144.3%の256億75百万円となりました。

業績はいかがでしたか。

売上高については、前連結会計年度比107.3%の196億74百万円を計上しました。

利益面については、前年度に比べて利益率の良い案件は少なかったものの、売上高が増加したことで、営業利益は前連結会計年度比100.7%の17億25百万

円、経常利益は同101.2%の18億34百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同102.5%の12億71百万円と増加し、増収増益となりました。

当期の期末配当につきましては、1株につき45円（前期実績40円）とさせていただきます。これにより、中間配当1株当たり40円と合わせた年間の配当金は1株につき85円となり、前期実績から5円増配となります。

次期の見通しはいかがでしょうか。

当社グループの受注については、政府の経済対策として予算化された公共インフラ設備の受注に加え、省エネルギーや生産性向上を目的とする設備の更新需要などの受注を確保して200億円を目指します。2021年3月期の連結業績予想については、例年に比べて受注残が多いことから、売上高215億円、営業利益19億50百万円、経常利益20億50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益14億円となる見通しです。

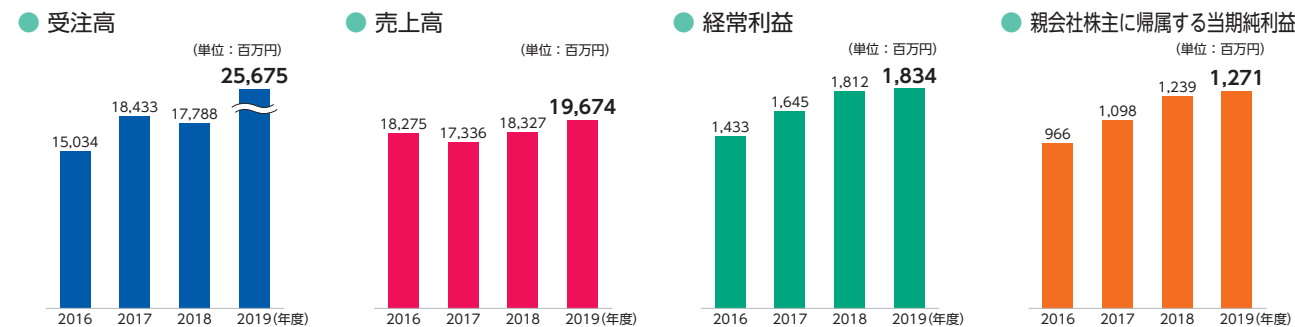
今後の取り組みについてはどのようなものを考えていますか。

官需営業については、顧客に対して業界をリードする機軸計画などを積極的に提案し、大型案件の受注に注力するとともに、ビジネスパートナーとの連携を深め、公共インフラ分野でのシェアの拡大を目指していきます。国内民需及び海外の営業については、DMWブランドの浸透を図るために、得意分野である海水ポンプ市場を中心に、顧客ニーズに沿った既納製品の修理・改善の提案をするストックビジネスを推進していきます。海水淡水化ビジネスについては、これまで納めた製品の実績データを活用して他社との差別化をPRするなど、新たな販売網の確立を図っていきます。また、今回の新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策を機にテレワークや時差通勤などの働き方の新しいスタイルも推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年7月

連結財務ハイライト

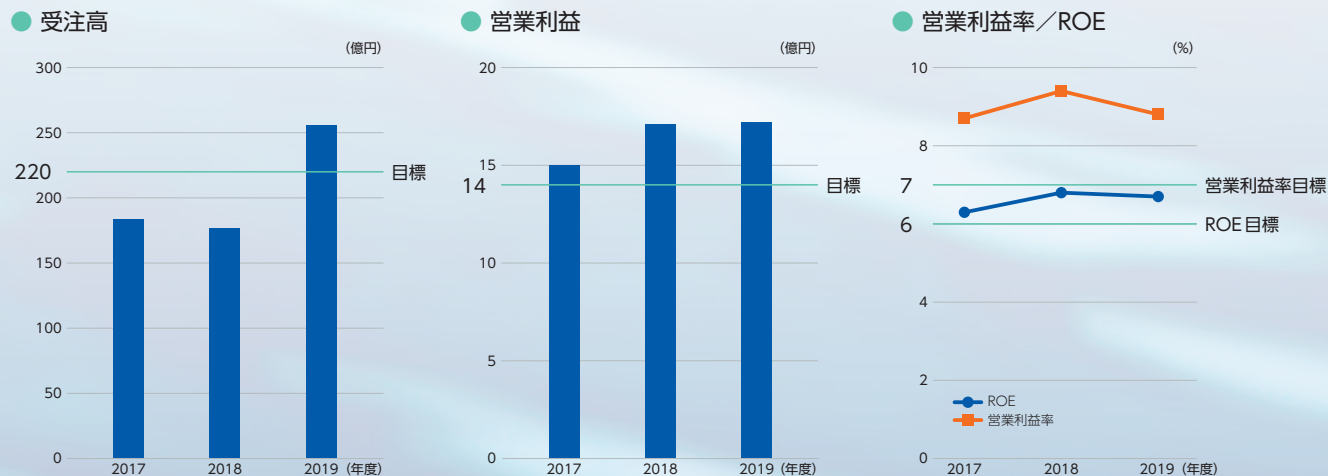


前中期経営計画の振り返り

2017年度からスタートし3年計画で取り組んできた『New DMW 中期経営計画2019』では、“Passion for the Next Innovation ～次なる革新への熱い思い～”をスローガンに掲げ、ものづくりに対する熱い思いで当社のブランド化を進めてまいりました。代理店との連携強化や地域に密着した営業展開、次世代に向けた新たな商品開発、海水淡水化ビジネスの確立、インド工場の稼働、働き方改革など、直面する重点テーマを確実に進めた結果、目標とした経営数値を全て達成することができました。

(単位：億円)

	2019年度 連結経営数値目標	NewDMW中期経営計画2019		
		2017年度	2018年度	2019年度
受 注 高	220	184	177	256
営 業 利 益	14.0	15.0	17.1	17.2
営 業 利 益 率 %	7.0	8.7	9.4	8.8
R O E %	6.0	6.3	6.8	6.7



中長期的な経営指標と経営戦略

当社は2020年度から2022年度までの3年間に取り組む「中期経営計画2022 D-Active」を新たに策定しました。“Passion for the Next Innovation ～次なる革新への熱い思い～”のスローガンのもと、電業社ブランドの浸透に向け常に新しい技術を追求し続けるとともに、お客様をはじめ全てのステークホルダーから信頼され、選ばれる企業を目指します。また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症防止対策を機にテレワークや時差通勤などの働き方の新しいスタイルを推進してまいります。

中期経営計画2022 D-Active Passion for the Next Innovation ～次なる革新への熱い思い～

▶ 達成ビジョン

- DMWブランドの浸透で他社との差別化を推進する
- ポンプ・送風機市場で、グローバルニッチトップ企業を目指す
- 顧客のニーズに即した製品とサービスで社会に貢献する

▶ 基本戦略

海水淡水化ビジネスの確立

第4のビジネスとしての市場におけるDMWの認知度アップ

独創的な製品開発とビジネスモデルの確立

社会と顧客の変化に対応した新たな製品開発

ストックビジネスの増強とメンテナンス体制の確立

顧客のニーズや社会の変化に対応した付加価値提案の充実
ストックビジネスを足掛りに、次世代につながる新規案件の受注

人的資源の活性化

社員総活躍企業を目指したマルチタスク人材の育成
ダイバーシティの推進

SDGsを推進し持続可能な社会の実現に貢献

「新しい生活様式」に則した働き方の新しいスタイルの推進

▶ 数値目標

2022年度 連結経営数値目標	受 注 高 230億円	営 業 利 益 20億円	営 業 利 益 率 10%	R O E 7%
--------------------	----------------	-----------------	------------------	-------------

○ 当社の新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

新型コロナウイルス感染症が世界規模で流行しております。新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早いご回復と、事態の収束を心よりお祈り申し上げます。

当社では、新型コロナウイルス感染症対策として、様々な施策に取り組んでいますので、主な取り組みについてご紹介します。

全社での取り組み

共有部等の定期的な消毒



マスク着用の徹底

手洗い・うがい・手指の消毒の徹底

Web会議・TV会議等の活用



不要不急の外出・出張の自粛・延期

出勤前の検温、体調確認



大勢が集まるイベント等への参加自粛

テレワークの推進

本社、支店、営業所の取り組み

事務机の間にアクリル板を設置



公共交通機関の混雑時間を避けて出勤

三島事業所・現地工事サイトの取り組み

三島事業所における各部門の事務所内活動エリアの分散化



現場従業者へのフェイスシールドの支給(予定)

当社は今後も引き続き、新型コロナウイルスをはじめとした感染症防止対策に取り組むとともに、「新しい生活様式」に則した働き方の新しいスタイルを推進してまいります。

○ 排水機場維持管理者向け研修会の開催

当社が北海道開発局札幌開発建設部から受注し、ポンプ機械設備製作据付工事を行った江別太排水機場において、ポンプ設備の据付状況や施設概要に関する研修会を開催いたしました。

本研修会は、機場の維持管理を担う江別太河川防災環境事業協同組合より、整備途中の状況を把握し、完成後の機器メンテナンスに活かしたいとの要請をいた

だいたものです。

同協同組合のほか、江別市建設部からもご参加され、ポンプやその他機器を設置する基礎の施工状況を視察いただきました。ポンプ設備の排水能力、据付手順並びに安全管理等についてもご説明し、好評のうちに終了することができました。



説明会の様子



完成機場

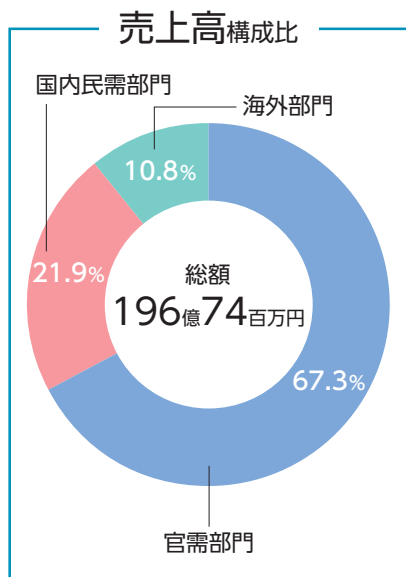
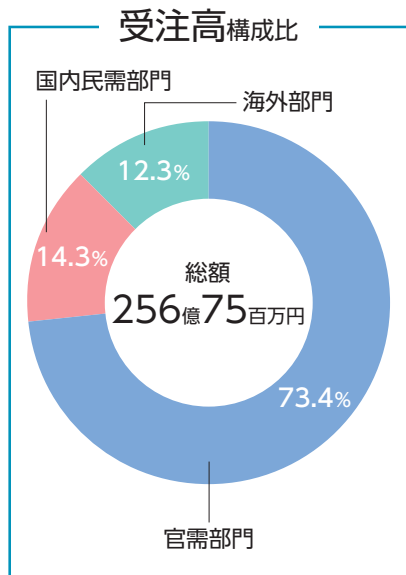
○ 伏見稲荷大社への鳥居奉納

当社三島事業所には、社業繁栄と安全を祈願して建立した稲荷神社があり、京都の伏見稲荷大社から神霊の勧請を受けた分霊が祀られています。京都の伏見稲荷大社には、2005年1月に鳥居を奉納していましたが、今年度、当社は創立65周年（創業110周年）という節目を迎えることから、さらなる御神徳をいただくことができますよう、この3月に新たな鳥居を建立し奉納いたしました。

京都に向かかれた際には、伏見稲荷大社に立ち寄り当社が奉納した鳥居をご覧ください。(建立場所は「奥社～三叉路参道200番」となります。)



今回奉納した鳥居(手前)



官需部門

受注高 **188億41百万円**
(前期比156.4%)

売上高 **132億33百万円**
(前期比108.1%)



● 上水道設備向けポンプ

国内民需部門

受注高 **36億80百万円**
(前期比102.2%)

売上高 **43億04百万円**
(前期比100.0%)



● 石油化学プラント向け送風機

海外部門

受注高 **31億53百万円**
(前期比147.6%)

売上高 **21億36百万円**
(前期比119.9%)



● 製油所向け送風機

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期末 2020年3月31日現在	前期末 2019年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	21,070	20,418
固定資産	6,180	6,333
有形固定資産	3,547	3,643
無形固定資産	149	143
投資その他の資産	2,483	2,546
資産合計	27,251	26,751
(負債の部)		
流動負債	7,740	7,950
固定負債	312	175
負債合計	8,052	8,126
(純資産の部)		
株主資本	18,966	18,098
資本金	810	810
資本剰余金	111	111
利益剰余金	18,883	17,956
自己株式	△838	△779
その他の包括利益累計額	232	526
純資産合計	19,199	18,625
負債純資産合計	27,251	26,751

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

電業社機械製作所

検索

詳細な情報につきましてはホームページをご覧ください。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
売上高	19,674	18,327
売上原価	14,934	13,583
売上総利益	4,739	4,744
販売費及び一般管理費	3,013	3,030
営業利益	1,725	1,714
営業外収益	177	159
受取利息	9	3
受取配当金	84	67
雑収入	83	88
営業外費用	69	60
雑損失	69	60
経常利益	1,834	1,812
税金等調整前当期純利益	1,834	1,836
法人税、住民税及び事業税	535	566
法人税等調整額	26	30
当期純利益	1,271	1,239
親会社株主に帰属する当期純利益	1,271	1,239

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当期 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	前期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	652	5,187
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376	△582
財務活動によるキャッシュ・フロー	△417	△526
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△146	4,077
現金及び現金同等物の期首残高	7,472	3,395
現金及び現金同等物の期末残高	7,326	7,472

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

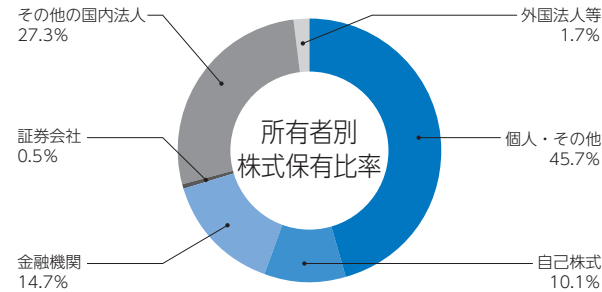
株式の状況 (2020年6月15日現在)

※2020年5月29日付公告の通り、2020年6月15日を第85回定時株主総会の基準日と定めたため、2020年6月15日現在の情報を記載しています。

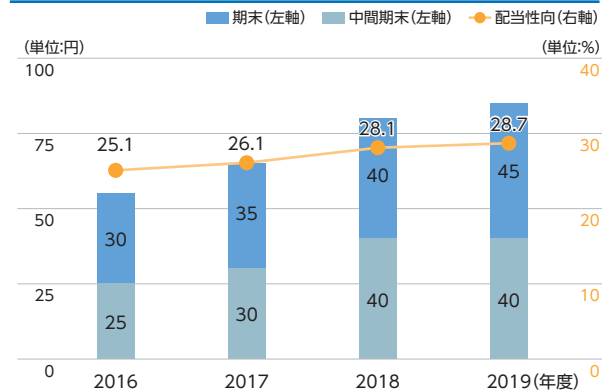
株式の状況

■発行可能株式総数	19,107,600株
■発行済株式の総数	4,776,900株
■株主数	3,076名

株主構成



1株当たり配当金/配当性向

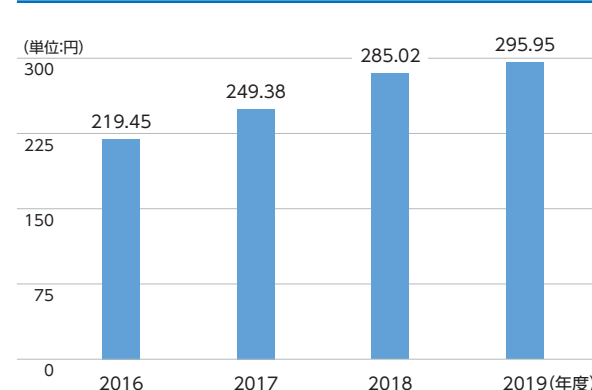


大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社GM INVESTMENTS	506	11.80
電業社取引先持株会	223	5.19
明治安田生命保険相互会社	175	4.09
株式会社鶴見製作所	130	3.04
株式会社明電舎	127	2.97
三井住友海上火災保険株式会社	121	2.83
一般財団法人生産技術研究奨励会	120	2.79
株式会社三菱UFJ銀行	104	2.43
光通信株式会社	71	1.67
水道機工株式会社	70	1.64

(注) 1. 当社は、自己株式 (480千株) を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

1株当たり純利益



会社の概況

会社概要 (2020年3月31日現在)

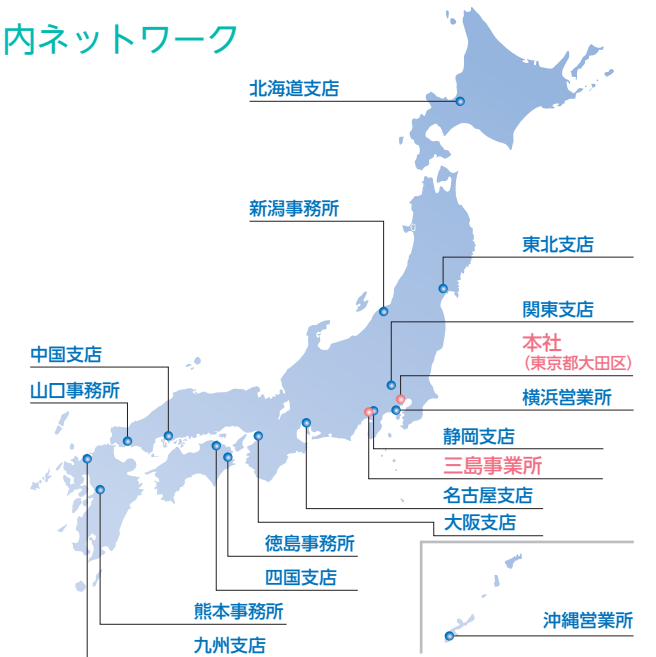
■商号	株式会社 電業社機械製作所 (DMW CORPORATION)
■所在地	東京都大田区大森北一丁目5番1号 〒143-8558 TEL 03 (3298) 5115
■資本金	810,000千円
■グループ従業員数	612名 (うち契約社員82名、パートタイマー37名)

取締役及び執行役員 (2020年7月31日現在)

代表取締役会長	土屋 忠 博
代表取締役社長	村 林 秀 晃
最高執行役員社長	
取締役 役員	彦 坂 典 男
取締役 役員	稲 垣 晃
取締役 役員	濱 田 耕 一
社外取締役	上 地 崇 夫
社外取締役	杉 井 守
取締役 (常勤監査等委員)	鯉 沼 博 行
社外取締役 (監査等委員)	住 田 知 正
社外取締役 (監査等委員)	多 田 修
執行役員	青 山 匡 志
執行役員	原 広 志
執行役員	山 岸 嗣 宏
執行役員	永 田 元 彦

ネットワーク (2020年7月31日現在)

国内ネットワーク



国内子会社

- ・電業社工事株式会社 (本社：静岡県三島市)
- ・株式会社エコアドバンス (本社：静岡県三島市)

海外ネットワーク

海外拠点

- ・アブダビ支店 (アラブ首長国連邦)
- ・シンガポール支店
- ・大連事務所 (中国)
- ・米国拠点 (ヒューストン)

海外子会社

- ・DMWインド社 (本社：ムンバイ 工場：プネ)

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 公告の方法 電子公告により行う
公告掲載ホームページ
<http://www.dmw.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(各種手続き先)

1. 株式に関する各種手続き(住所・氏名の変更、配当金振込口座の指定・変更、単元未満株式の買取請求等)につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
2. 株券電子化に伴う証券会社等の口座への振替手続きがお済みでない株式(特別口座に記録された株式)に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 銀行取扱い期間終了後の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

当社ホームページ <http://www.dmw.co.jp/>



▲TOPページ(イメージ)

※2020年8月に、当社ホームページの全面リニューアルを予定しています。

 株式会社 電業社機械製作所

〒143-8558 東京都大田区大森北一丁目5番1号
TEL(03)3298-5115(代表)



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物インキを使用しています。